



# THE OZU PASSPORT

PREMIUM

# MAP

宿泊者限定

城下町散策

## まち巡りマップ

城下町のお店を沢山巡り、ほんの少し特別なまち歩きをお楽しみください。掲載された観光施設や店舗以外にも、大洲のまちには味わい深い魅力が溢れています。

大洲の城下、  
肱南エリアを  
散策する

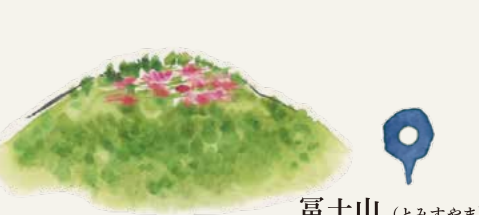


肱南エリアには、江戸時代の町割と家並みが忠実に残っており、周囲の路地には飲食店や雑貨店がある。小さな佇まいの中にも華やかな時代の記憶を感じさせてくれる町並み。おはなはん通りの北側は屋簷の蔵が並び、南側には武家屋敷が並ぶ。



**対岸から眺める大洲城**  
大洲城を眺めるなら、肱川を挟んだ対岸からがおすすめ。風のない日には、川面に映る天守の姿を撮影することができる。また夕暮れ時には、天守の奥に沈みゆく夕陽や山々がなんとも美しい。

**富士山のつつじ**  
その名の通り、富士山を思わせる形をしており、西日本有数のつつじの名所。毎年春には、約63,000本のつつじが山頂を染める。また、山頂から見渡す大洲盆地の夜景も見事だ。



**如法寺の四季**  
富士山(とみすやま)の中腹にある禅寺「如法寺」。仏殿は文化遺産として国の重要文化財に指定され、禅堂として仏教の歴史を肌で感じさせてくれる。深い森の中で豊かに守られてきた自然や景観が美しい。新緑や紅葉など、訪れる季節によって豊かに表情を変える。



**土産もの**  
銘菓や地酒なら「まちの駅あさもや」、雑貨・工芸品なら「赤煉瓦館」を訪ねれば、心惹かれる大洲土産との出会いが待っている。

**まち歩き**  
城下町の肱南エリアは、例えばまちの駅あさもやから大洲城まで、徒歩10分程度。まち歩きにはちょうど良い距離感だ。

**人力車**  
まちの駅あさもやから、おおず観光人力車でまち巡りをするのも一興。車夫から大洲に纏わる伝承も聞くことができ、徒歩とは違う目線でまちを愉しめる。

**おはなはん通り**  
おはなはん通りの道幅は、当時のまま7.2m。北側に建つ民家から火災が発生したときに、南側の武家屋敷に延焼しないよう、道幅が広く設計されている。

**昭和灯**  
昭和灯はもともと精油工場の煙突が寄進されたもの、それをモルタルで囲んで昭和天皇即位記念に建てられた。

**蔵と石積み**  
盤泉荘(旧松井家住宅)をはじめ、まちの蔵は石積みの上に建てられている。それらは、度々増水・氾濫を繰り返してきた肱川の被害を防ぐためのものだ。



大洲特有の甘めの御汁と、肥沃な土壌で育った大洲産里芋が奏でる伝統の味。代表的な郷土料理であり、大洲を語る上で、いもたきは外せない。現在は愛媛県内の各地で食べることができるが、発祥は大洲とされる。



大洲藩江戸屋敷内の秘蔵菓子であったものが、参勤交代で藩内に伝わったのが志ぐれのはじまりと言われる。市内各所に志ぐれを扱う和菓子店がある。味や食感、製法など、伝統の技の中に店舗のこだわりが見られる。



岐阜県長良川、大分県日田市の三隅川、大洲市の肱川の鵜飼を日本三大鵜飼と称する。中でも大洲は、鵜匠船と客船の屋形船が併走して川下りする、国内唯一の「合わせうかい」と言われる手法で行われることが特徴。



大洲は、山々に囲まれた盆地だ。河口は瀬戸内海に面し、市の中心を肱川が流れる。この地形は、寒暖差と共に霧や雲を多く発生させる。諸条件が揃った時には、世界的にも稀有な霧と風の自然現象「肱川あらし」をもたらす。

少彦名温泉 大洲臥龍の湯

至 大洲IC

※土日のみ利用可

大洲市役所

旧加藤家住宅主屋

SADA

大洲城

肱川橋

大洲のうかい

ZUMI

YUKI

MUNE

MOTO

TUNE

大洲神社

臥龍山荘

盤泉荘

観光第2駐車場

観光第1駐車場



国道56号

至 大洲IC/大洲駅